

植物と微生物

大気中のC1化合物を介した
気候変動との関わり
の理解に向けて

CH₃OH

CH₃Cl

CH₄

COS

DMS

日時： 2012年 **12**月 **14**日 **10:30-16:50**

場所： 京都大学生存圏研究所 (京大宇治キャンパス)
木質ホール3階

参加費：無料

プログラム

- 10:30-10:40 趣旨説明
- 10:40-11:05 中村 達夫 (横国大院環境情報)
モノハロメタン合成に関わる植物遺伝子の機能解析
- 11:05-11:25 吉田 奈央子 (豊橋技科大)
細菌によるハロゲン化メチルの代謝
- 11:25-11:50 斉藤 拓也 (国立環境研) 他
ハロゲン化メチルと硫化カルボニル：
森林生態系と成層圏化学をつなぐ C1 化合物
- 11:50-12:15 米村 正一郎 (農環研)
葉による硫化カルボニルの吸収とジメチルスルフィドの発生
- 12:15-12:40 片山 葉子 (東京農工大) 他
チオシアネート配糖体の微生物分解に伴う硫化カルボニルの発生
- 12:40-13:50 休憩
- 13:50-14:15 阪井 康能 (京大院農) 他
葉上に棲息する C1 微生物 - 植物間相互作用と日周変動
- 14:15-14:40 高橋 けんし (京大生存研) 他
好氣的条件での植物からのメタン放出の問題
- 14:40-15:05 岩田 拓記 (京大院農) 他
アラスカ内陸部のクロトウヒ林におけるメタン交換
- 15:05-15:20 休憩
- 15:20-15:45 村瀬 潤 (名大院生命農学)
メタンが駆動する水田土壌の微生物食物連鎖
- 15:45-16:10 伊藤 昭彦 (国立環境研) 他
陸域生態系モデルによるメタン収支の統合評価
- 16:10-16:35 須藤 健悟 (名大院環境)
化学気候モデルによるメタン・メタノールの
全球分布・収支の推定
- 16:35-16:50 総合討論とまとめ